

評価報告概要表

■第三者評価機関

| | |
|-------|--------------------|
| 名 称 | 社会福祉法人 山口県社会福祉協議会 |
| 評価調査日 | 平成 30年 11月 28日 (火) |

■福祉サービス事業者情報

| | | | |
|------------|---|----------|--------------|
| 名 称 | 華南園 | 種 別 | 障害者支援施設 |
| 代表者氏名 | 施設長 村田 芳江 | 開設年月日 | 昭和48年7月1日 |
| 設置者 | 山口県社会福祉事業団 | 定員(利用人数) | 50名(49名) |
| 所在地 | 〒747-0833 防府市大字浜方205 | | |
| 電話番号 | 0835-23-3650 | FAX番号 | 0835-23-3623 |
| ホームページアドレス | http://jigyoudan-vg.jp/kanan/ | | |

■総 評

全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

◇特に評価の高い点

個別支援計画をはじめ、各種の業務マニュアルが整備され、業務の標準化が図られています。また、その見直しを適時行うことで、サービスの質の向上につなげていこうとする姿勢が見られました。さらに、運営会議をはじめとする8つの委員会において、サービスについて検証や検討を行い、課題を明らかにすることで、安全・安心な環境づくりとサービスの質の向上のための改善を図られています。

また、集団的な日中活動だけでなく、利用者一人ひとりの希望を叶える行事である「夢の日」の設定による個別支援と、それにかかるニーズの把握やその実現のための取組がなされており、利用者の満足につながっていることは、「その人らしさを大切に」という法人理念を具体化した例と言えます。

◇改善を求められる点

「職員の方がいつも忙しそうにしておられる」という利用者の声がありました。様々な機会を通して、利用者の思いに寄り添う支援を行おうとする施設全体及び職員の姿勢がありつつも、利用者満足には至っていない可能性があります。言い換えれば、「職員が忙しうだから、〇〇してほしいと言いつらい」ということになります。職員一人ひとりが、利用者支援について「作業」ではなく、「支援(ケア)」をしているという意識を常に持つことができる体制づくりを図り、利用者の期待や思いが、さらに次につながっていくかたちになることを期待しています。

■第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

法人理念「その人らしさを大切に」の下、利用者一人ひとりの希望を叶える「夢の日」をはじめとしたサービスを提供しております。

今回、第三者評価を受審し、利用者支援について改めて考える機会を与えていただくとともに、適切な指導・助言をいただき感謝しております。

この結果を真摯に受け止め、職員一人ひとりが適切なケアのできる体制づくりに努め、更なる質の向上を図っていきたく思います。

評価報告概要表

■評価分野別評価結果(分野別の特記事項)

| I 福祉サービスの基本方針と組織 | a | 9 | b | 0 | c | 0 | Na | 0 |
|--|---|---|---|---|---|---|----|---|
| <p>法人理念が明文化され、「その人らしさを大切に」という基本理念が誰にでもわかりやすく、様々なところで活用されています。</p> <p>また、法人の中期経営計画から施設の事業計画が策定されており、運営会議で協議されることで、事業計画が組織的に具体化されています。また、その事業計画を利用者や家族に対しても理解していただくための取組が、「話し会おう会」や「保護者会」などの機会を通じて行われています。</p> <p>さらに、各種の会議が定期的かつ機能的に開催されており、職員一人ひとりに共有化を図る取組がなされていることは評価できます。</p> | | | | | | | | |

| II 組織の運営管理 | a | 18 | b | 0 | c | 0 | Na | 0 |
|--|---|----|---|---|---|---|----|---|
| <p>サービス改善検討委員会など、8つの委員会を設置され、施設長自らが出席し、そこでのリーダーシップを発揮されています。</p> <p>また、運営の透明性を確保するため、法人として会計監査人を設置されています。</p> <p>サービスの質の向上を図るための取組として、施設長自らが施設長会議や研修に参加されて情報収集を行うとともに、職員にも研修の機会を積極的に提供されています。施設内においても、委員会での協議や研修復命などの機会が確保され、職員の資質向上に努められています。</p> <p>地域との交流については、特に施設の持つマンパワーや特性を発揮して取り組まれていることがわかりました。</p> | | | | | | | | |

| III 適切な福祉サービスの実施 | a | 13 | b | 5 | c | 0 | Na | 0 |
|---|---|----|---|---|---|---|----|---|
| <p>「その人らしさを大切に」という基本理念の具体化に取り組むため、様々な業務マニュアルが整備されており、業務の標準化が図られています。マニュアルについては定期的な見直しをされていますが、今後はさらに効率化を図り、職員一人ひとりに浸透するよう徹底し、施設全体のサービスの向上につながるものとするのが求められます。</p> <p>個別支援計画やケース会議、ケース記録などで、利用者一人ひとりの状況の把握ができるとともに、目標も明らかにされており、情報の共有化が図られています。今後は、ヒヤリハットや事故の報告事例について、発生した状況の検証を行うことなどにより、発生件数の減少と職員の負担の軽減につながることが求められます。</p> | | | | | | | | |

| IV 良質な個別サービスの実施 | a | 25 | b | 6 | c | 0 | Na | 3 |
|---|---|----|---|---|---|---|----|---|
| <p>「夢の日」の導入により、利用者本人の希望が実現され、生きがいにつながっていることが、利用者から喜ばれていることがよくわかりました。また、日常生活においても、個別の支援計画や「話し会おう会」などの機会でも、利用者のニーズの把握に努め、その実現を図る姿勢が、職員一人ひとりにから施設全体に至るまで浸透している様子が見られました。利用者の健康管理や身体状況の改善についても、支援員・看護師・理学療法士などの各スタッフや嘱託医などが連携し、取り組まれています。</p> <p>しかし、利用者への介護量が増してきていることが、様々な場面で見られました。その業務遂行に邁進することによって、「職員が忙しそうだから・・・」という風に見え、不安と不満につながっているようです。今後、中期経営計画でも示されているように、施設整備を進められることが、利用者のニーズの実現や働きやすい職場環境の実現につながるものと期待しています。</p> | | | | | | | | |